

# 安全への取り組み

## 両備グループ安全宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は、「運輸安全マネジメント」に基づき、「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

両備グループ代表 小嶋 光信

### 活動方針

両備グループ安全マネジメント委員会を中心に、労使参加で、より現場に密着した効果的な活動を展開し、目標である「日本一安全な運輸企業」を目指します。

※SSP-UP=S=safety&security( 安全 ), S=service( サービス ), P=productivity( 生産性 )

### 安全方針

- 1 安全運航を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
- 2 船舶の整備を的確に行い、日常点検を厳正に行なうこと。
- 3 点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
- 4 教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
- 5 万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとること。

### 2021年度重点実施事項

#### 1. 海難事故防止

- ①5 SAF の徹底
- ②操船の基本を指導徹底
- ③過労による海難事故の防止
- ④発航前点検の強化と飲酒チェック・体調チェックの徹底
- ⑤安全確認、入港前の後進テストの適切な実施
- ⑥計画的な定期点検の実施による不具合箇所の早期発見・安全確保
- ⑦計画的な操練・訓練の実施と記録保存
- ⑧毎月1回以上船内安全会議を開催し、ヒヤリ・ハット事例の検証などによる安全意識の高揚
- ⑨気象悪化に伴う運航可否の適切な判断・走錨事故防止対策の徹底
- ⑩その他 海難事故撲滅のための事項

#### 2. 労働災害防止

- ①5 SAF の徹底
- ②作業マニュアルの整理及び徹底、現場での教育指導
- ③毎年2回以上船の安全点検チェックリスト（28項目）による改善活動
- ④ヒヤリ・ハット情報による自社の「傾向と対策」に基づく注意喚起
- ⑤機器類の日常・月次・法令点検実施による不良箇所の早期発見と修理
- ⑥作業機器類操作マニュアルの再確認
- ⑦その他 労働災害撲滅のための事項

#### 3. 船内車両事故防止

- ①安全作業マニュアルの現場指導教育
- ②毎月1回以上船内安全会議を開催し、ヒヤリ・ハット情報による自社の「傾向と対策」に基づき車両甲板における注意点を共有
- ③歯止めの適切な使用方法の徹底
- ④二輪車に対し緩衝材等の使用とロープによる確実な固定の徹底
- ⑤その他 船内車両事故防止のための事項

### アルコールチェックの厳正な実施

船員法施行規則改正に合わせ、2020年4月より安全管理規程を変更し、新たなチェック体制を整えました。



### ブリッジ内へのドライブレコーダーの設置

操船事故の防止に向け、2020年5月よりブリッジ内撮影用カメラを全ての船舶に設置しました。



### 安全教育の実施

運航管理者や乗組員に対し、社外講師を招聘してセミナーを開催する等、運航管理に関する知識、意識の向上を図っています。



### 各種訓練の実施

重大事故を想定し、乗組員並びに陸上職員が冷静かつ的確に行動できるように、関係機関と合同で様々な訓練を実施しています。

#### 1 テロ対策訓練



#### 2 火災消火訓練



#### 3 避難誘導訓練



#### 4 機器故障非常時訓練



### 内部監査の実施

フェリーユニット各社の運航管理者で構成された監査チームによる相互監査（クロスチェック）で、現行の安全管理体制の適合性・有効性の確認、基本的なP D C Aの確認を毎年1回行っています。

### ヒヤリ・ハット事例分析

ヒヤリ・ハット情報を一元管理し、収集した情報を基に自社の「傾向と対策」をまとめ、毎月1回の安全マネジメント会議にて共有しています。